

平成29年度第1回河南町地域公共交通会議 会議録（議事要旨）

- 日 時 / 平成29年12月12日（火）午前10時00分～午前11時55分
- 場 所 / 河南町役場4階 大会議室南
- 出席者 / 委員26名／欠席委員3名
事務局4名
傍聴者4名
- 配布資料
 - ・ 議事次第
 - ・ 委員名簿
 - ・ 実証運行の経過と結果の報告について
 - ・ 今後の方向について
 - ・ スケジュール案について
 - ・ 運行状況について
 - ・ 住民意識調査について
 - ・ 需要喚起策の事例について
 - ・ その他
- 議 第
 - 1. 役員選出
 - 2. 報告事項
 - （1）実証運行の経過と結果の報告について
 - （2）今後の方向について
 - （3）スケジュールの確認について
 - （4）その他

○議事要旨

■役員選出について

実証運行中のため、昨年度の役員が引き続き行う。

会長：平峯委員 副会長：小川委員・森田委員

■実証運行の経過と結果の報告について

実証運行の経過、運行状況の総括、収支状況、住民意識調査、現状と課題について、順次、説明を行う。

■今後の方向について

今後の方向・需要喚起策について順次、説明を行う。

■スケジュールの確認について

平成30年2月以降、1年間の実証運行を引き続き行う。平成30年12月頃に平成31年2月以降の運行について検討を行う。その為、1年間に3クール、PCDAをしていく。

◆意見

- ・現在、実施されている地方公共交通に関して、国からの補助金はいつまでつくのか。
→国の補助金については、平成27・28年度は10/10で補助金があり、平成29年度については補助金の対象はありません。
- ・さくら坂・鈴美台地区において、中学生が通学時に100円で乗車することができ、保護者からは好評を得ている。
- ・今後、町内の幼稚園・小学校等の統合が実施されるが、河南町全体の総合的な交通政策を立てる必要があるのではないか。デマンド交通システムや乗車人数を見てワゴン車でもいけるのではないか。
→今後バスをどう改めるのか、また、デマンドの問題も並行して、今、検討の中に入っております。
- ・さくら坂・鈴美台での住民アンケートを実施したのですが、回数券が欲しいという意見が多くありました。また、車内での販売ができないかとの意見がありました。
→12月1日より乗車券（10枚）を役場で販売を開始している。

車内販売については、運行時間がぎりぎりで組んでいるため、難しい面もあるが、引き続き、バス会社との協議を行っていく。

- 大宝地区・さくら坂地区については、非常に乗車率が高いが、それ以外の旧村部では、なかなか乗車率があがらないのが現実である。その為にもサポーター制度も必要ではないかと思います。

→ 平成30年2月より開始予定で準備を進めている。

- 各種団体に地域公共交通の活用を呼び掛けていく事が大切かと思います。自治会・区長会等については、役場へ来庁されることもよくありますので、その際には活用する様にすればいいのかと思います。

また、行政の方も会議開始時間がカナちゃんバスに合わせた時間帯になっていない事が多いので、そのあたりの改善が必要かと思います。

→ 役場の中でこういう会議等がある時には、地域公共交通を利用して下さいというメッセージを入れてもらう様、役場各課にお願いしており、時間帯もそのように変更してもらえる様に再度、お願いしていきたい。

- 金剛バスという路線バスとカナちゃんバス・やまなみタクシーのすみ分けをしながらやるということが地域公共交通の考えですが、金剛バスとの協力が今後必要で乗り継ぐという方向性で何かご意見等あれば。

→ 金剛バス（北野委員）カナちゃんバスと金剛バスの路線の時間を複合して話しする必要はある。バス停も高齢者の利用が多いので、屋根があるバス停を造るとかどこでつなぐのかバスロータリーをどうするのかといろいろ話しあった上で、もっと後で考えてほしいです。

→ 本日、頂いた意見を集約して、また、今後の検討会議・交通会議において十分、検討

していくことにしていきたいと考えていますので、今後もよろしくお願いいたします。

議事録会長署名

平岸 悠

議事録署名委員

宮内 衛

議事録署名委員

塚田 輝和